一進一退の景況下、
仕入価格高騰は価格転嫁がカギに

DOR139号（2021年10～12月期景況調査）速報　（2022年1月5日発行）

※ DOR（ドール）とは**DOyukai Research** の頭文字をとったものです

中小企業家同友会全国協議会(http://www.doyu.jp)

主要指標は揃って好転したが、次期は横ばい

業況判断DI（「好転」－「悪化」割合）は△4→8、足元の景況を示す業況水準DI（「良い」－「悪い」割合）は△12→4、売上高DI（「増加」－「減少」割合）は2→10、経常利益DI（「増加」－「減少」割合）は△3→△1と、前期悪化した主要指標はすべて好転した。経営上の問題点では、「仕入単価の上昇」が49％と2位から1位に上昇するなど、前回報告した「原材料価格高騰が経営課題として本格的な問題になった」との見立て通りに推移している。

業況判断DIを業種別に見ると、建設業が△8→0、製造業が7→15、流通・商業が△13→0、サービス業が△3→13と、すべて水面上に浮上した。地域経済圏別では、北海道・東北が△12→△9、関東が12→18、北陸・中部が0→19、近畿が1→13、中国・四国が△4→△1、九州・沖縄が△17→△1と、すべて好転した。企業規模別では、20人未満で△11→5、20人以上50人未満で△3→6、50人以上100人未満で4→17、100人以上で25→17と、従業員100人前後で回復力に差がついた。

次期（2022年1～3月期）以降は、業況判断DIが8→9、業況水準DIが4→△1、売上高DIが10→10、経常利益DIが△1→5、と予測。業況水準の減少以外はほぼ横ばい予測。次期の業種別の業況判断DIでは、建設業が0→△1、製造業が15→12、流通・商業が0→4、サービス業が13→17と、建設業以外が好転または横ばいと予測している。

原油高・ドライバー不足で、多角的経営も視野に入れた仕事づくりを

採算面では、仕入単価DI（「上昇」－「下降」割合）が45→62に、売上・客単価DI（「上昇」－「下降」割合）も11→19となり、仕入単価DI－売上・客単価DIも34→43に拡大した。仕入単価DIは、総合工事業（民需中心）が71→91、機械器具製造業が76→85、運輸業が65→70と、半導体・部材調達難、資源価格や商品価格の高騰が企業業績を圧迫している。

雇用面では、正規従業員数DI（「増加」－「減少」割合）は3→7とやや増加し、臨時・パート・アルバイト数DIも0→2もやや増加した。所定外労働時間DI（「増加」－「減少」割合）は△13→△1と増加した。但し、人手の過不足感DI（「過剰」－「不足」割合）は△24→△36と不足感は強まった。設備の過不足感DI（「過剰」－「不足」割合）は△12→△15と横ばいから不足に転じた。

会員からは、「原油高の現状が…大きな痛手となっており、先が見えない。…適正な運賃・料金の収受に関しても、荷主企業へ交渉することは、非常に難しい働きかけです。…トラックをもたない輸送形態や、ドライバー不足が今後もっと大きな問題となるので、多角的経営も視野に入れた仕事づくりをすることに注力していこう（奈良、一般貨物輸送業）」。大局的視野が求められる時代である。

景気の本格回復は困難な状況。2021 年中は無理。

日銀短観は大企業・製造業が 18 と前回の 2021 年 9 月調査から横ばいとなり、先行きが 13 と 5 ポイント下がる見通し。中小企業は製造業も 2 ポイント改善の△1、非製造業が 6 ポイント改善の△4 と、改善したもののマイナス圏にある。GDP は 2021 年 7～9 月期の改定値が年率換算で 3.6％減と再びマイナス成長となった。成長率はマイナスとプラスを繰り返し、底打ちした後も持ち直しきれない、一進一退の様相を呈している。新型コロナウイルスの感染状況による浮き沈みが激しいことが反映している。

原材料価格の上昇が企業業績を圧迫する。11 月の企業物価指数は前年同期比 9.0％上昇し、伸び率は 1980 年 12 月以来およそ 41 年ぶりの大きさとなった。しかし、消費者物価指数（CPI）の前年同期比の上昇率は 10 月まではほぼゼロで推移する。価格転嫁に苦慮している様子がうかがえる。我々は、どのような経営環境にも対応できるようにしていこう。

＊本文中断りのない限り、業況水準以外は前年同期比＊詳細は2022年1月31日発行のDOR139号をご覧下さい

［調査要領］

調査時	2021年12月1～15日
対象企業	中小企業家同友会会員
調査の方法	郵送により自計記入を求めた
回答企業数	2,220社より882社の回答をえた（回答率39.73％） （建設153社、製造業263社、流通・商業262社、サービス業193社）
平均従業員数	役員を含む正規従業員37.64人　　臨時・パート・アルバイトの数30.16人

DOR(同友会景況調査)139号（2021年10～12月期景況調査）　資料

主要指標

業況判断（前年同期比）																		
	17Ⅲ	Ⅳ	18Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	19Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	20Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	21Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
全業種DI	10.4	13.5	3.0	4.2	5.5	6.9	2.7	−1.7	−2.7	−13.0	−30.9	−58.2	−45.4	−29.6	−23.5	10.8	−3.7	7.8
好転	31.9	32.8	27.4	28.0	29.8	29.0	27.8	26.3	26.3	20.9	16.4	9.7	13.0	17.8	20.8	35.8	28.7	32.3
横ばい	46.6	47.9	48.2	48.2	46.0	48.9	47.1	45.6	44.8	45.2	36.2	22.4	28.5	34.8	34.9	39.1	39.0	43.3
悪化	21.5	19.3	24.4	23.8	24.3	22.1	25.1	28.1	28.9	33.9	47.3	67.9	58.4	47.4	44.3	25.1	32.3	24.5
建設業	4.1	13.4	−1.2	4.6	8.8	2.6	10.7	2.4	8.5	−3.5	−15.0	−49.4	−33.7	−17.3	−14.2	−7.4	−7.6	0.0
好転	27.9	28.7	24.4	28.2	30.6	27.5	32.0	25.9	26.8	23.2	19.7	9.0	13.0	18.5	19.5	27.3	24.0	25.8
横ばい	48.3	56.1	50.0	48.3	47.7	47.7	46.7	50.6	54.9	50.0	45.7	32.6	40.2	45.7	46.8	38.1	44.4	48.3
悪化	23.8	15.3	25.6	23.6	21.8	24.8	21.3	23.5	18.3	26.8	34.7	58.4	46.7	35.8	33.7	34.7	31.6	25.8
製造業	13.6	15.1	4.2	7.8	5.6	8.4	−4.4	−7.4	−16.1	−24.6	−39.3	−63.8	−60.8	−41.8	−30.3	20.6	7.4	15.0
好転	36.0	35.4	30.2	31.4	33.0	33.8	29.0	26.4	22.6	18.2	16.9	9.8	7.8	13.7	20.6	41.3	35.7	38.5
横ばい	41.6	44.3	43.8	45.0	39.6	40.8	37.5	39.8	38.7	38.9	26.9	16.6	23.6	30.8	28.5	38.1	36.0	38.1
悪化	22.4	20.3	26.0	23.6	27.4	25.4	33.5	33.8	38.7	42.9	56.2	73.6	68.6	55.5	50.9	20.6	28.3	23.5
流通・商業	8.0	7.8	2.3	3.0	1.0	5.5	−0.8	−6.8	1.1	−15.5	−34.0	−57.9	−44.5	−29.3	−24.0	7.2	−13.5	0.4
好転	29.8	31.0	26.9	27.8	27.7	24.5	23.6	22.6	28.3	17.4	16.6	10.3	14.7	18.7	20.5	32.6	23.4	28.9
横ばい	48.3	45.8	48.5	47.4	45.7	56.4	52.1	48.0	44.5	49.6	32.8	21.5	26.1	33.3	34.9	41.9	39.7	42.7
悪化	21.9	23.2	24.6	24.8	26.6	19.1	24.3	29.4	27.2	33.0	50.6	68.2	59.2	48.0	44.6	25.5	36.9	28.5
サービス業	14.4	20.2	5.7	0.5	10.5	12.1	12.9	9.5	4.9	0.6	−28.1	−57.9	−35.4	−24.3	−22.7	17.8	−3.0	13.0
好転	32.3	35.1	25.7	23.7	28.2	30.1	28.8	31.8	29.3	27.8	13.0	9.9	17.5	21.2	22.2	40.4	29.5	33.3
横ばい	49.7	50.0	54.3	53.2	54.1	51.8	55.2	46.0	46.3	45.0	46.0	22.3	29.6	33.3	33.0	37.1	38.0	46.4
悪化	18.0	14.9	20.0	23.2	17.7	18.1	16.0	22.2	24.4	27.2	41.1	67.8	52.9	45.5	44.9	22.5	32.5	20.3

各種調査　業況水準																		
	Ⅲ	Ⅳ	18Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	19Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	20Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	21Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
DOR全国	9	18	10	5	8	12	4	−3	0	−3	−23	−49	−36	−19	−19	−5	−12	4
短観（全規模）	15	16	17	16	15	16	12	10	8	4	−4	−31	−28	−15	−8	−3	−2	2
短観（大企業）	23	26	23	22	21	21	17	15	13	9	0	−26	−21	−8	2	8	10	14
短観（中堅企業）	18	19	20	20	17	17	13	13	12	9	−3	−30	−28	−15	−8	−3	−1	3
短観（中小企業）	9	11	11	11	12	12	10	6	5	1	−7	−33	−31	−18	−12	−8	−8	−3
中小企業庁	−22	−20	−25	−20	−22	−20	−25	−20	−24	−27	−36	−68	−57	−45	−49	−42	−44	−34

業況水準　良いマイナス悪い割合％																		見通し
DI表	Ⅳ	18Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	19Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	20Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	21Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	22Ⅰ
全業種	18.2	10.5	4.6	7.7	11.5	4.4	−3.1	−0.2	−3.3	−22.6	−48.5	−36.5	−18.6	−18.5	−5.4	−12.1	4.5	−0.6
建設業	28.7	18.9	13.2	5.9	24.0	23.2	13.3	24.1	11.9	6.9	−31.7	−21.2	−5.1	−1.2	−1.1	−2.9	15.1	7.9
製造業	19.3	10.7	2.8	8.9	13.0	−6.6	−9.5	−19.0	−17.8	−40.0	−59.4	−50.2	−24.9	−26.2	−6.0	−13.1	−6.5	−8.4
流通・商業	12.7	6.3	2.3	2.4	0.0	−1.1	−12.9	−1.9	−6.6	−28.1	−50.8	−39.0	−23.9	−20.5	−8.9	−25.5	−0.4	−3.8
サービス業	16.5	8.1	3.2	16.5	18.2	14.6	6.4	12.3	11.2	−17.1	−43.4	−27.7	−16.0	−19.9	−4.3	−1.0	16.7	6.8

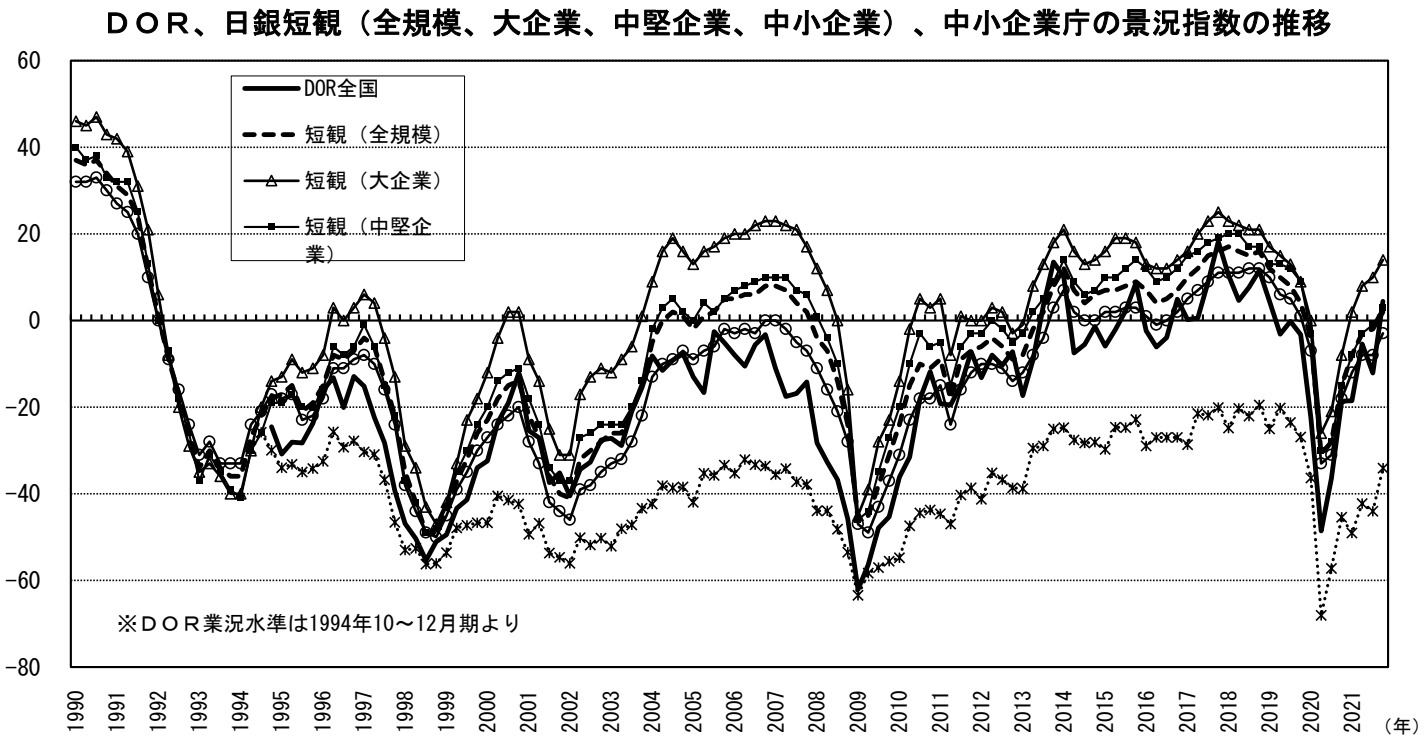
売上高（前年同期比）　増加マイナス減少割合％																		見通し
DI表	Ⅳ	18Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	19Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	20Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	21Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	22Ⅰ
全業種	12.7	4.0	3.1	4.6	6.9	4.8	−0.2	−1.0	−10.5	−27.2	−55.4	−47.4	−30.7	−27.4	11.5	2.4	9.8	10.1
建設業	5.2	−7.2	1.8	−0.6	0.7	8.8	6.6	9.1	−7.0	−12.8	−44.1	−33.9	−20.7	−14.9	−9.3	−6.6	−0.7	1.4
製造業	16.5	8.3	4.4	4.6	9.2	−1.9	−7.5	−14.7	−20.1	−33.8	−61.2	−63.0	−43.1	−37.6	18.4	9.5	16.0	18.0
流通・商業	12.5	2.6	2.0	1.7	4.0	3.4	−2.5	6.0	−10.5	−27.6	−57.6	−47.5	−29.1	−25.4	12.2	−2.5	2.0	−1.6
サービス業	14.1	8.1	5.2	13.3	15.0	14.2	7.4	3.7	2.4	−29.2	−52.6	−38.1	−25.8	−26.5	18.3	4.6	19.0	22.2

経常利益（前年同期比）　増加マイナス現象割合％																		見通し
DI表	Ⅳ	18Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	19Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	20Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	21Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	22Ⅰ
全業種	10.6	−1.0	0.5	−1.6	0.0	−0.7	−5.4	−3.9	−10.9	−25.4	−54.2	−43.7	−25.9	−21.7	10.7	−2.9	−1.2	5.1
建設業	14.9	−11.1	2.3	−0.6	−2.0	−1.4	−0.6	5.5	−0.7	−14.0	−42.1	−30.3	−22.5	−12.7	−8.7	−13.3	−9.5	−4.5
製造業	10.3	2.0	−5.0	−6.6	1.4	−4.8	−12.1	−15.9	−24.2	−32.6	−61.4	−56.5	−35.1	−28.6	22.1	5.2	4.7	10.4
流通・商業	4.7	0.8	2.3	−1.7	−5.2	−1.5	−9.0	0.4	−12.6	−27.4	−55.9	−45.8	−23.1	−21.3	9.0	−8.2	−8.1	−8.2
サービス業	15.9	0.6	6.4	6.2	10.0	8.6	5.4	2.5	4.7	−22.3	−50.4	−35.0	−21.1	−20.0	14.2	0.0	4.7	23.0

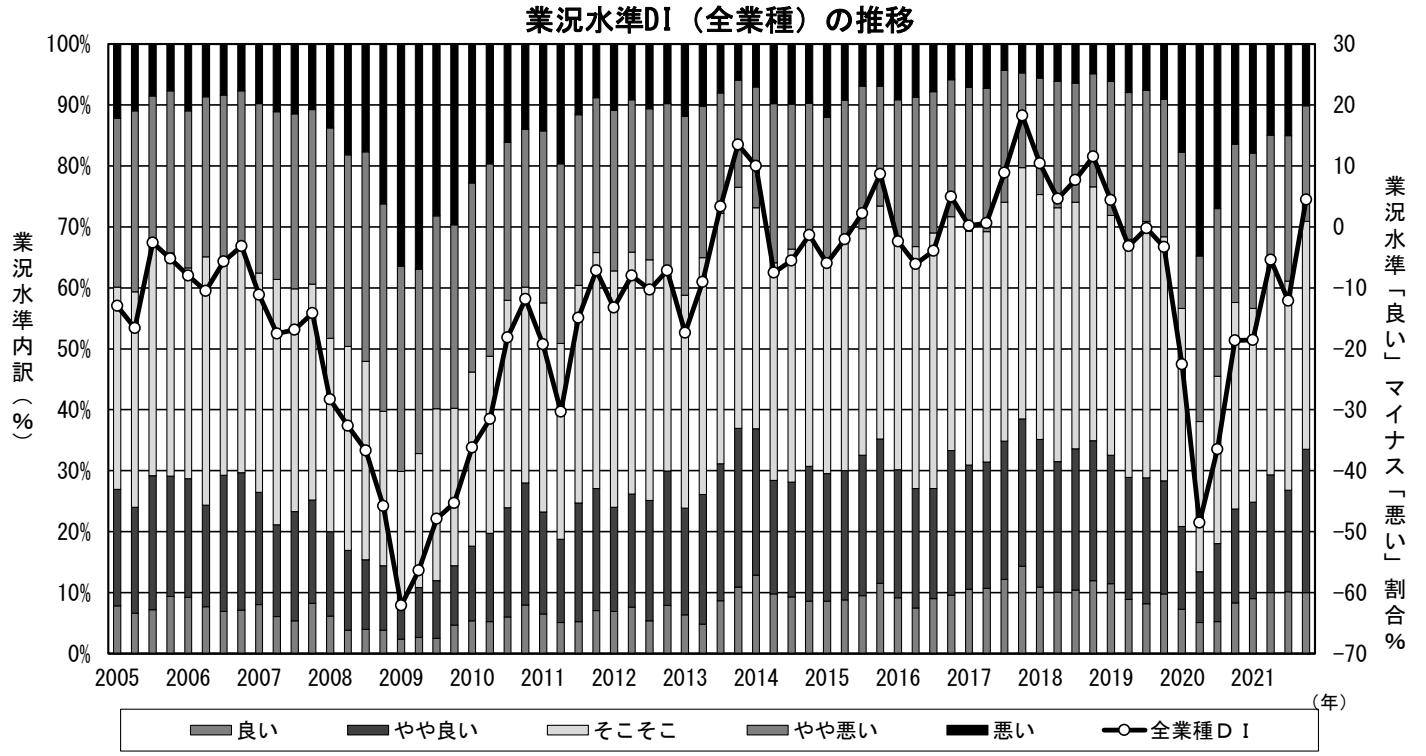
仕入単価（前年同期比）　上昇マイナス下降割合％																		見通し
DI表	Ⅳ	18Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	19Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	20Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	21Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	22Ⅰ
全業種	31.7	37.9	40.0	40.5	44.6	42.9	42.5	36.4	37.4	26.9	5.7	6.6	9.0	17.3	35.4	45.2	61.7	61.1
建設業	30.7	29.3	42.5	38.7	41.2	46.0	47.2	49.7	49.6	46.4	21.0	15.1	20.6	20.9	46.5	62.1	79.5	72.1
製造業	40.7	50.8	53.3	52.8	56.7	56.4	49.8	39.8	42.4	29.6	10.4	4.3	9.0	27.5	50.2	58.5	78.9	81.3
流通・商業	28.4	33.6	32.2	32.0	42.4	34.0	37.8	30.0	28.5	18.5	−6.5	6.8	−0.8	11.5	27.9	37.9	47.8	50.2
サービス業	22.4	29.2	25.6	31.7	29.4	29.7	34.9	25.4	30.6	15.7	2.4	2.7	10.6	6.9	12.8	18.6	41.6	37.4

売上・客単価（前年同期比）　上昇マイナス下降割合％																		見通し
DI表	Ⅳ	18Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	19Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	20Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	21Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	22Ⅰ
全業種	10.0	8.3	9.7	10.9	15.5	13.9	15.0	12.3	12.3	6.2	−9.6	−9.3	−1.7	0.6	8.9	10.9	18.8	22.5
建設業	14.7	4.9	12.1	10.1	11.8	19.1	16.3	14.0	21.7	11.3	−1.7	−10.1	7.1	5.6	9.9	14.4	20.7	18.7
製造業	7.4	8.6	9.0	13.3	16.1	10.8	14.9	9.6	4.4	2.8	−9.5	−14.7	−8.7	0.0	7.2	12.6	22.8	30.4
流通・商業	10.2	7.7	7.0	9.0	18.1	15.8	14.6	15.5	9.3	6.2	−10.3	−5.4	−2.7	0.8	10.4	12.2	17.3	24.2
サービス業	10.7	13.5	13.6	10.4	14.7	14.0	13.7	11.5	21.6	7.6	−14.6	−6.4	3.5	−2.9	9.0	2.8	14.4	13.5

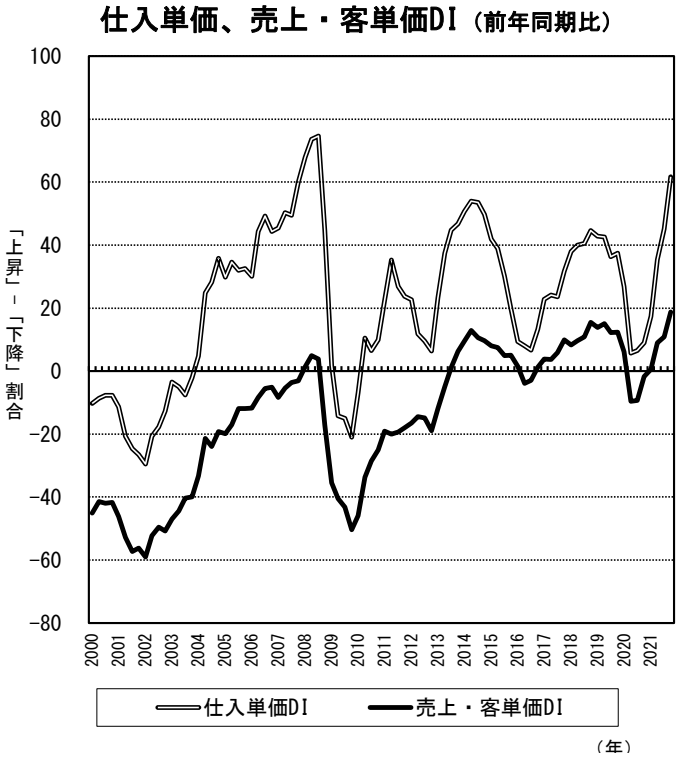
一進一退ながら好転基調へ



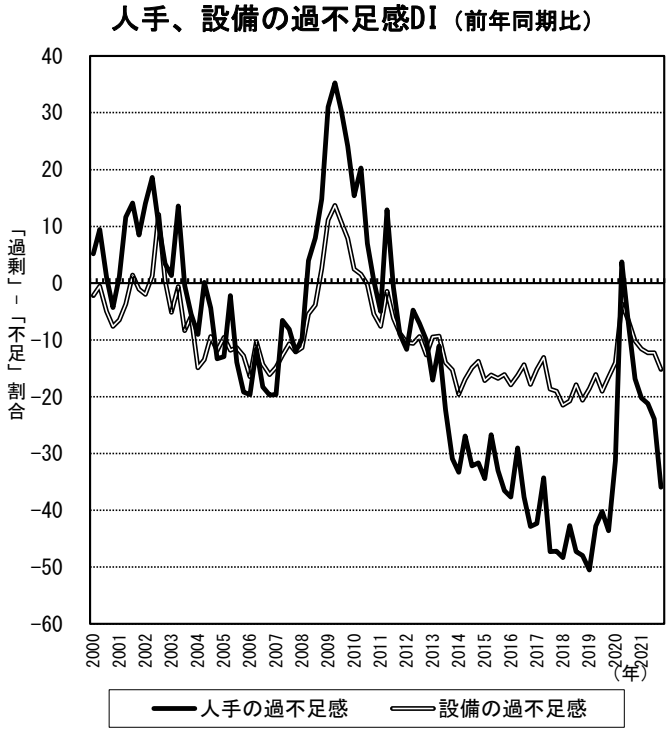
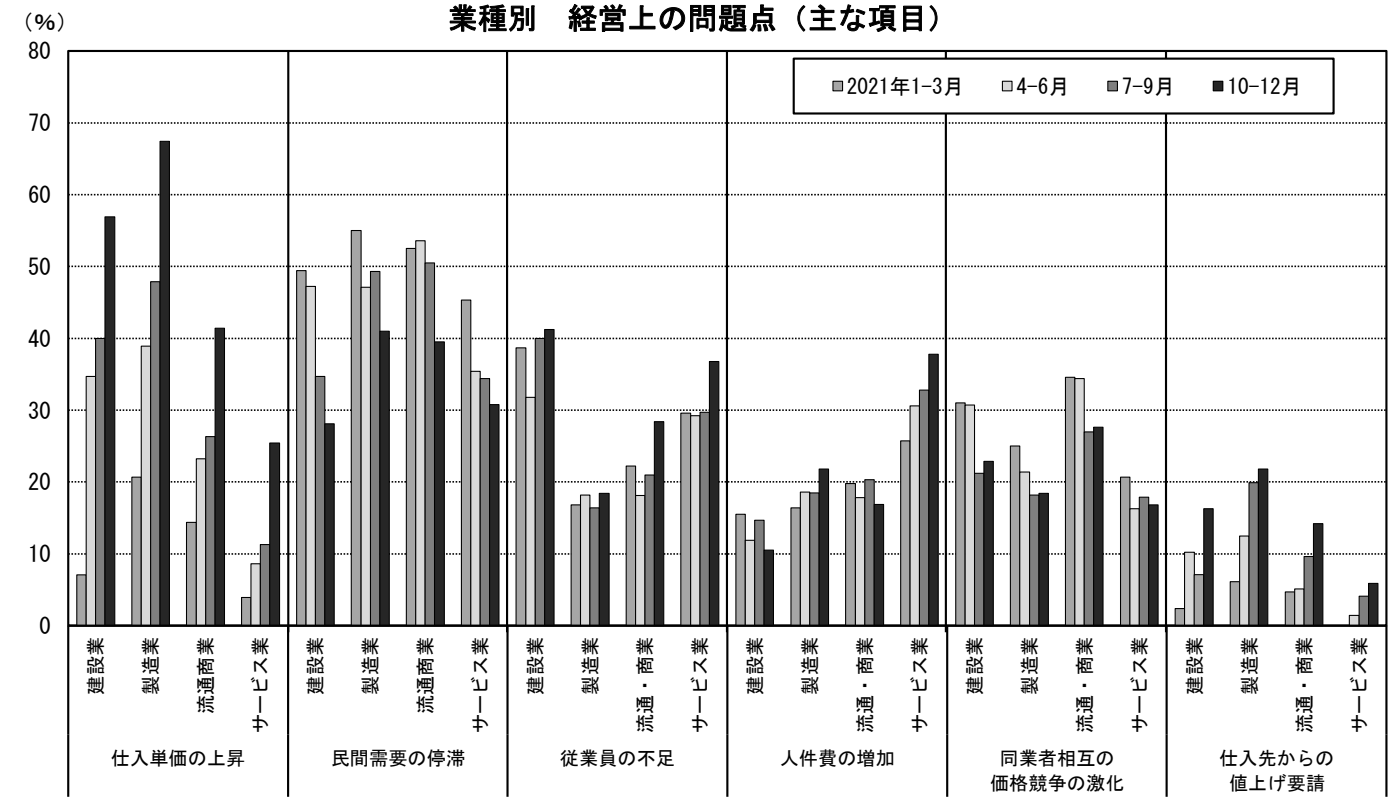
業況水準は3年ぶりにプラス水準に復活



仕入単価と売上・客単価の差が開く



人材、設備ともに不足感強まる



経営上の問題点「仕入単価の上昇」と「従業員の不足」が全業種で増加